



週報

2016～2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 佐藤圭司 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第3グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第1120回(2月7日)例会の記録

点鐘 佐藤圭司会長
合唱 国歌斉唱 奉仕の理想
第2副SAA 片山会員 菊田会員

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
32名	29名	90.00%	90.00%

会長の時間

佐藤 圭司 会長

本日は増強に向けてロータリー2570地区で『ようこそロータリーへ～ロータリーへのお誘い～』というビデオを作りましたので、その一部を観て頂こうと思います。



◆ロータリーの奉仕理念とは

寛容・慈愛・忍耐 他への思いやりの心・助け合いの心・他人のお役に立つ行いをしようとする心。

◆ロータリーに奉仕理念を提唱した人

アーサー・F・シェルドン 1908年にシカゴロータリークラブに入会。初期のロータリーの指導的人物。『最もよく奉仕するもの最も多く報われる』という理念を提唱。

◆ロータリーの目的

意義ある事業の基礎として理念を推奨しこれを育むことにある。

1. 知り合いを広める事によって奉仕の機会とすること。
1. 職業上の高い倫理基準を保ち役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会

としてロータリアン各自の事業を高潔なものとする

1. ロータリアン一人一人が個人として、また事業及び社会生活において日々奉仕の理念を实践すること。

1. 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解・親善・平和を推進すること。この4つの項目は等しく重要な意味を持ち、また同じに行動を起こさなければならないものであるということでRI理事会の意見が一致。

◆四つのテスト

事業及び専門職務に携わるロータリアンの心構えとして価値ある目標を追い求めるための指針であり、その商取引が適正な利潤を得るかどうかを問うもの。

・真実かどうか

『嘘偽りがないかどうか』

・みんなに公平か

『すべての取引先に対して公正かどうか』

・好意と友情を深めるか

『よりよい人間関係を築き上げて取引先を増やすかどうか』

・みんなのためになるかどうか

『商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべき事ではない。但し、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えない』

◆ロータリーの組織

●五大奉仕部門

クラブ奉仕部門・職業奉仕部門・社会奉仕部門

国際奉仕部門・青少年奉仕(新世代)部門

●ロータリー財団部門

●ロータリー米山記念奨学部門

◆ロータリーの主な行事

月に2回以上開催される例会を始め、ガバナーが担当地区のクラブを訪問して活動内容などについての指導を行う。

地区研修、協議会、地区委員会の開催により、各クラブより担当者向けに研修が行われる。

また、会員の研修と親睦を深めるために年1回都市連合会(IM)や地区大会、各国からのロータリアンが集う国際大会が開催されている。更に、会員同士の親睦をより一層深めるために様々な親睦活動が開催されている。

ロータリーは『親睦』と『研修』を軸として両輪を上手く噛み合わせ、例会を通し邁進しています。軸の一つである研修は『理屈』『理論』を会得すればよいのではなく、実践をして初めて目的が達成できるプログラムとなっています。即ち実践をしなければ何の役にも立たないということです。皆さんも是非、地域から国際へと奉仕活動をひろげようではありませんか！という内容のものでした。

幹事報告

益子幹事

- ・地区より『派遣交換学生の月次報告』
- ・米山記念奨学会より『米山記念奨学生修了式及び歓送会のご案内』
- ・狭山市社会福祉協議会より『評議員の推薦』依頼状
- ◎ 例会変更 所沢中央RC 入間RC 飯能RC
- ◎ 受贈会報 所沢中央RC 所沢RC
- ◎ 回 覧 AARニュース 2月号

「会員卓話」……

榎T. S. E. 取締役
福田 浩之 様

『今さら聞けないITキーワード』

今日のテーマは「今更聞けないIT キーワード」と題しまして、普段ニュースなどで聞いてはいるが、詳しく知らないというIT キーワードをご説明したいと思っております。



まずは「IT 歴史」からお話しを始めたいと思います。「IT 化の原点」とはコンピューターが身近になった……つまりパソコンの登場から始まります。

最初のパソコンが登場したのが1975年、今から40年以上前の話です。さらに1982年に入ると NEC 製パソコン PC-9800が売り出され日本のオフィスもIT化の波が押し寄せます。会社にパソコンが入りだしたというのもこのくらいの時期じゃないかなと思います。

2000年には流行語大賞で“IT 革命”という言葉が流行語となり、本格的ITという言葉が一般的になります。それまでのITイメージは“メール”とか“ホームページ”と言ったものだったのですが、これを機に工場のFA化とかITによって社会全体が急激に変化していくことになります。

そして今年、スマート IT 流行の兆しといわれています。総務省の年次報告書の中で、日本再生の道筋としてスマート IT が紹介されています。この“スマート”についてご説明します。

◆スマート化◆

今パソコンを使えない若者が増えているってご存知ですか？今の若者はパソコンを使わずスマートフォンを使っているため若者のパソコン離れが進んでいます。

その原因のスマートフォンですが、2018年には一年の出荷台数が2億5千万台に達する予測です。一年でパソコンの出荷台数の5～6倍が出荷されています。

世界でどんどんパソコン離れが進んでいますが、実はこれがITの新しい進化の形なんです。

ITが形を変えて“使いやすいよう”に様々なものに紛れて皆さんの方へ近づいてきている。つまり、今までパソコンは苦手だと言っていた人がパソコンを使うのではなく、パソコンを使わずしてITの恩恵を受けられる。これが“スマートIT”なんです。

“スマート”とはすでにあるなにかとコンピューターが結びついて新たな機能を提供するITの手段です。そんなスマートITの例を少し挙げていきたいと思えます。

◆スマートカー◆

車は便利な乗り物ですが、事故など人為的なミスが多くあります。これを解決するのが、スマートカーです。コンピューターが自動でブレーキを掛けたり止まったり、自動で運転して目的地まで移動したりします。本田技研工業さんから2020年には高速道路上での自動

運転が可能になると発表がありました。自動運転もそう遠い未来ではありません。

◆スマート冷蔵庫◆

次にご紹介するのがスマート冷蔵庫です。スマート冷蔵庫は冷蔵庫内の食品をコンピューターで管理します。賞味期限も管理を行いきれる前に通知をしてくれます。

その他にも、冷蔵庫の中のもので作れる料理のレシピを教えてくれたり、インターネットショッピングで足りない食材を注文してくれたり、ITの力を使って生活を楽にする提案が出てきているのです。



◆スマート農業◆

最後にスマート農業のご紹介をいたします。今までの農業は、“雨も日”も“風の日”も・・・という大変な作業でしたが、これをIT化して生産を楽に効率化するという取り組みです。

センサーで土の具合をはかって肥料を蒔いたり農薬を蒔いたり、カメラを使って作物を監視したりITの力で効率化を図ります。

農家はなり手が少なくなっているという問題がありますが、IT化によってこれを解決しようという取り組みです。

スマートITは人にITを感じさせず、ITの便利さだけを提供する新しい形です。人間とITの間にスマートITがあると思っただけであればITの理解も進むかと思えます。

◆人工知能◆

今人工知能搭載と言われているものも巷に溢れています。

人工知能とはコンピューターが“経験したこと”をもとに行動を行うようなプログラムのことを言います。「機械は言われたことしかできないから・・・」

というのは過去の話で今は言われたこと以上を行うことが出来ます。

たくさんの人工知能搭載の機器があふれ、コンピューターの成長とともに人工知能も成長してきました。将棋を行う人工知能では人間はもう勝てないといわれています。これからその差は開く一方でしょう。将棋よりルールがシンプルなチェスはもう二十年まえから人間は人工知能に勝てていません。将棋よりルールが複雑で人工知能が人間を追い越す日は来ないだろうといわれていた囲碁についても去年名人が負けています。

こうなると「世界を人工知能が支配する日が来るんじゃないか！」なんて思うかもしれません。ですが今のところは大丈夫です。人工知能には得意な面があるのです。人工知能はこの先起こりうるあらゆる問題点を理解しないと進めません。人間が些細なことと思うようなことも決定しなければ先にすすまず、コンピューターがハングアップしてしまいます。人工知能には得意不得意があり、ルールや考え方の枠があるものでは人間以上の働きをし、創造力の必要なものは不得意です。

これを専門用語で「フレーム」問題と言います。しかし、ルールが決まっていればすごく力を発揮するのが人工知能です。オックスフォード大学の研究では「あと10年で702の職業は人工知能にとってかわられる」と報告しています。銀行マンやオペレーターなど、ある特定の仕事であれば人工知能で十分に機能できるという研究です。

その後の未来予測では今から20年後には全仕事の47パーセント、約半数の仕事で人工知能が人間に代わって仕事をするようになっているそうです。2045年には人工知能が人間の知能を追い越してしまうのではないかとされています。

これを「2045年問題」と呼びます。そうなると人工知能がより頭のいい人工知能を生み、それ



を繰り返すことによって爆発的スピードで自己進化していくと考えられています。その時、人間と人工知能の関係がどうなっているのか？楽しみなような、怖いような気がします。

◆サイバー犯罪◆

2015年、一年間でのサイバー犯罪、ネット犯罪での被害額は2258億円と言われています。そして全世界では11兆円の被害が出ているといわれています。

昔は IT なんて「趣味や好きな人が対応すればそれでいい」そう言ったものでした。その時の犯罪なんて、大概がいたずら目的で「パソコン動かなくしたら面白いぞ」ぐらいのものでした。

ただ、時代が変わり IT が仕事で重要、生活で重要になってくると、それに伴い犯罪の形も変わり詐欺目的などお金儲けのために人をだまそうとする人が増えました。これから様々な犯罪のご説明をしていきます

◆料金請求に関するトラブル◆

料金トラブルの多くは「ワンクリック詐欺」と呼ばれるものです。

突然メールで「新しい出会いがほしくないですか？」となど好奇心をあおったり、アダルトサイトで「この先がみたければクリックしてください」とか様々な手をつかって詐欺サイトに誘導しようとします。そして、それに引っかかってしまうと「契約が成立しました。5万円振り込んでください」と画面に出てきます。

5万円という、だまされても泣き寝入りしてしまいそうな額、というのがポイントなんだそうです。

こういった被害を若い男性などが受けた場合、比較的 IT リテラシーが高いため、特にやましい気持ちもなければ「NO」と一蹴して被害を大きくすることはないのですが、若い女性などが出来心で「出会いが欲しいわ」なんて詐欺に引っかかった場合「家族に知られたくない、お金を振り込まないといけない」と振り込んでしまったり、地位の高い方などが引っかかった場合、「恥ずかしい、お金で解決できるなら・・・」と被害を大きくしてしまう傾向があるようです。

まあ、それでも支払って解決するならいいのかもしれませんが。しかし、そうはいかないのです。

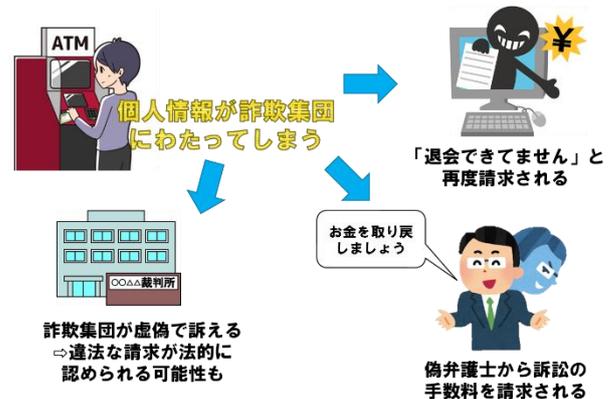
ただ一度支払いをしてしまうとそれでその人はカモだと思われてしまいます。カモと思われたが最後、さらに請求はエスカレートしていきます。

◆エスカレートするワンクリック詐欺◆

- まだ支払いできてないです。早く支払ってください。と再度請求される
- 「ワンクリック詐欺にひっかかってますよね？集団訴訟を起こして、お金を取り戻しましょう。そのためには手数料を振り込んでください。」などと別の手口でだまされる
- 個人情報調べられて虚偽の内容で「契約不履行だ」と裁判所に訴えるケースもあります。



じゃあ、ワンクリック詐欺にどう対抗すればいいのかわかるが、対策はこれしかありません。「断固無視する。」基本的に IT が簡単になったからといって、契約まで簡単になったわけではありません。ワンクリックでお金を請求されるようなサイトは無視しましょう。特に個人情報などは入れないようにしてください。もし、裁判所から通知が来ても、だいたいは嘘です。裁判所からの通知がきてもポストにそのまま投函されるようなことはありません。



しかし悪い詐欺師に目をつけられ、書留が裁判所からきた場合は弁護士に相談する必要があります。適切に対処しないと便利なはずの IT で辛い思いをすることになってしまいます。

◆不正アクセスに関するトラブル◆

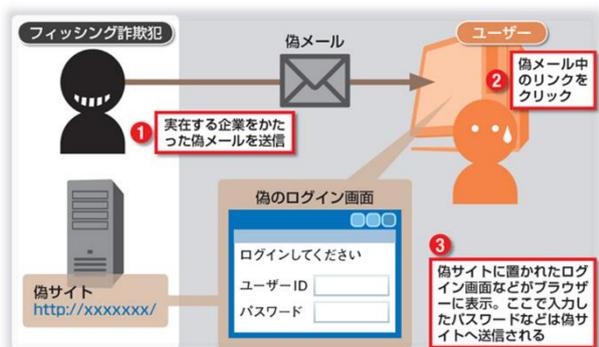
次に不正アクセスの話をしてと思います。簡単に言うとあなたに代わって“悪意のある誰か”がお金をおろしてしまったり、買い物をしてしまったりする行為です。インターネットバンクがでてきて大変便利になりました。

昼 ATM に並んで振り込みを行わなくても、パソコン上から簡単に振り込めます。そういった簡単さの裏にはそれを利用する悪いやつがいます。

この手の犯罪は「フィッシング詐欺」が大半を占めます。ニュースでキーワードとしてご存じの方も多いのではないのでしょうか？

フィッシング詐欺はほとんどがメールから始まります。偽のメール・・・つまり銀行やカード会社を装い、ユーザーID やパスワードを盗む行為をフィッシング詐欺と呼びます。

フィッシング詐欺に引っかかるとどうなるでしょう。銀行であればお金は残らず引き出されてしまいます。また、クレジットカードであれば要らない買い物をたくさんされてしまいます。



ネットの世界では ID とパスワードが本人の証明する物になっています。なので、これがばれてしまえば本人のふりをして、なんでもやりたい放題なのです。怪しいメールは無視するのがいいのですが、もし引っかかってしまった場合は以下のようにしてください。

◆フィッシング詐欺にかかったら◆

- まずは銀行かクレジットカード会社、詐欺にあったものを止めてください。詐欺師もいつも監視しているわけじゃありません。お金が引き出される前に止めてしまいましょう。
- 次に警察と国民生活センターに連絡です。詐欺師のサイトを止めなければなりません。
- 最後にフィッシング対策協議会というものがありますので、情報提供してもらえれば幸いです。次の被害者を減らすためには情報が必要です。



とにかく詐欺だと思ったら
即行動

とにかく詐欺だと思ったら即行動することが重要です。「もしかすると勘違いかも」なんて思ったら手遅れになってしまいます。

昔から泥棒はいますが、今は接点なく盗んでいきますのでたちが悪いです。皆さんもお気を付けてください。

◆コンピュータウィルスのトラブル◆

最後ですが、コンピュータウィルスについて説明したいと思います。

「コンピュータウィルスぐらい聞いたことあるよ」という方は多いと思います。しかし、最近はコンピュータウィルスも様々出てきています。今回はその悪質なものをご説明いたします。

今一番問題になっているのがランサムウェアと呼ばれるコンピュータウィルスです。

まずは何気ないメールから「請求書を確認してください」とか「ご依頼の書類ができました」みたいなメールが届きます。で、添付されているファイルを開くとウィルスに感染します。このウィルスは感染するとどうなるかといいますと、使っているパソコンのファイルが暗号化していきます。

暗号化されてウィルスを作った犯人しか解読できないようにしてしまうんです。で、ファイルを開きたければお金をよこせという表示が出て、お金を振り込ませようとしています。

このランサムウェアの「ランサム(ransom)」とは「身代金」という意味です。パソコンのファイルを監禁して身代金を請求してくるのがこのウィルスの特徴です。「重要なファイルなんてないよ」という方もパソコンにご家族の写真とか保存してないのでしょうか？ こういったものも見れなくなってしまうんです。

じゃあ、もしランサムウェアウィルスに感染してしまった場合どうしたらいいのでしょうか？ 残念ながら、有効な対策はありません。

ウィルス除去ソフトで一部直ることもありますが、詐欺師とのイタチごっこで最新のものには対応できません。また、身代金は要求されますが、本当に渡しても直る保証はありません。多重に詐欺にあってしまうようなものです。

なので、かかる前の予防が大事です。これはコンピュータウィルスも風邪もインフルエンザも同じなんです。

◆ウイルス予防には◆



- 怪しいメールは開かない。「日本語がおかしいな」とおもったり、なんで「急にこんなメール」がくるんだ?と思ったらそれは開かない。
- 相手の宛名は信じない。メールで他人に成りすますことは簡単です。お友達から来たメールだから大丈夫だろうとおもわず、怪しいなと思ったら開かないでください。お友達がウイルスに感染している可能性もあります。

添付ファイルはウイルスだと思え。添付ファイルを開かないでください。もし開きたいのであれば送り主に確認してから開いてください。

◆最後に◆

様々なサイバー犯罪について説明してきましたが、すべては良く考えた上で危ないことをしなければ問題ありません。

しかし、それでも心配だったり、問題が起こったりした場合、どうすればいいのでしょうか?

そんな時の対処方法をWEB上で検索すると「パソコンに詳しい人に聞いてください」と書いてありますが、私は思います。

- パソコンに詳しい人ってどんなレベルなんだろう?
- そんな人が「大丈夫」と言ったら本当に大丈夫なんだろう?
- そもそも、その詳しい人は本当に親身になって考えてくれるのでしょうか?

そこでご紹介したいのが、情報セキュリティの資格です。

それが「情報処理安全確保支援士」という資格です。セキュリティに特化した資格で、IT系としては日本初の士業です。資格保持者であれば皆さんの情報セキュリティも安心して任せられるのではないのでしょうか?

大星グループでも先んじて有資格者登録を進めているものが一名おります。

これだけITが身近に便利に、そして怖くなってきた世の中です。ITの相談も専門の人に頼むことをお勧めします。

最後は宣伝となってしまいましたが、これで私の卓話を終了させていただきます。

ニコニコボックス

佐藤君 寒風厳しき折、皆様体の熱を逃がさないよう工夫しましょう。本日の外来卓話(株)T.S.E.取締役 福田浩之様ようこそお越し下さいました。卓話宜しくお願致します。

益子君 本日の卓話(株)T.S.E.福田浩之様、楽しみにしていました。宜しくお願致します。

江原君 大星電機(株)取締役 福田浩之様、お忙しい中ようこそお出で下さいました。「今更聞けないニュースに見るITキーワード」本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願致します。

浜野君 申し訳ありません。早退します。

稲見君 T.S.E.(株)取締役 福田浩之様、今日のお話し楽しみです。宜しくお願致します。

小島君 (株)T.S.E. IT事業部事業部長 福田浩之様、ようこそお出で頂きました。お話し楽しみにしております。

佐々木君 所用により早退させていただきます。

清水君 (株)T.S.E.取締役 福田浩之様、本日はお忙しい中卓話ありがとうございます。

田端君 福田浩之様、本日はようこそお越しいただき、学びに感謝申し上げます。故郷が同じで親近感を覚え嬉しいです。有難うございます。

若松君 福田君、今回の卓話宜しく。

会員誕生祝 小室君 益子君 野口君 沼崎君

夫人誕生祝 高田君

結婚記念日 宮岡君

◆次の例会

2月21日(火) 12:30~13:30

第二副SAA : 小林会員 肥沼会員

外来卓話 : 野村証券川越支店
支店長 古川俊和様